

## 資料 小学校におけるデジタル化と学力

### 何で総合が1番活用しやすいのか

- ・収集したい情報があるから。(活用できる情報が)
- ・調べたい情報がネット上にあるから。
- ・説明したい事柄を言葉だけでなく、図や絵・写真を用いやすいから。  
(理解を助けるのに役立つ)
- ・総合の授業は、答えが一つではない、教科書にない内容についてだから。
- ・実際の生活に一番近い科目で、実社会にあふれている情報に一番近いから。

### 探究的と探究の違い

- ・小中→課題は与えられてそれを解決するが、高は課題を発見することから始まる
- ・小中の方が、探究よりもアバウトで、探究の前の事項になっている(探究に似たものが探究的)
- ・探究的→やってみよう、探究→もっと深く
- ・探究的→探究の活動はするけど、その練習(先生からテーマや内容をもたらしている)探究するとはなにかを学習している、探究は分かった高校の段階では、実際にテーマを生徒自身が探す
  
- ・小学校の探究的→探究の仕方・知識を学ぶ、探究は自分が実際に自分から課題を発見していき、そこからその価値を見出す、自分が見つけたものを社会に還元する
- ・探究的は課題を解決し、それに参加すること、探究は、課題と自分との関りを見つめ、そこから課題を見つけて解決し、また課題や価値を探す
- ・探究的→与えられた課題の解決がメイン(参加する)、探究→自分の在り方などから課題を見つけて、それを探究的な学習で学んだ方法で解決し、そのうえで社会に向けて何か生み出す。(参加ではなく、自分から行動を起こす)
  
- ・探究の意義や価値を理解する
- ・探究的は、与えられた課題を解決することで、探究は課題を自分から取りに行く(主体的)
- ・探究的は、探究っぽい(探究の真似事)これで練習して実際に探究を行う
- ・探究的は、立てた課題から積極的に解決して参加するが、探究はそこから社会に還元する

・探究とは、探して得ていくもので、小中の探究的は、得ていくところだけで、探究は探しという、自分から課題を見つけるところから始まり、さらにそれを解決すると、新たなもの（課題や社会に還元できるもの）を得ることができる。これをもとにあらたな課題から解決してまた新たなものを得ていくというサイクルをしていくのが探究で、ただ課題の解決だけで終わるのが探究的  
→高校の探究の学習は、キャリア教育

自分の得意なこと、アピールポイントを具体的にする

